

整理 No.2018-12		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2017年 7月 13日(水)		17時30分	天気 (晴れ)
災害区分		不労災害 <u>休業災害</u> (休業見込み日数: 約 1日)			
被災者	部門	<u>生産</u> ・技術・営業・管理(事務)		雇用形態	<u>正社員</u> ・派遣・契約・その他()
	年齢	48歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数	23年 経験年数 2年 8ヶ月
	傷病名	病名 (眼球炎症) 部位 (左目)			
	傷病部位				
災害発生状況	①アクリル8000Lタンクで反応缶のマンホール蓋を開け、 ドラム原料(モノマー) 8本投入予定の3本目で蓋を開けた時に内容物が吹き出し顔面に飛びメガネの隙間から目に入ってしまった		状況概略(写真orイラスト)		
	②ドラムを仕込む前に立てたままエア抜きを抜き、仕込む時にはドラムを横にしてドラム台車に乗せ、ドラムのエア抜きの蓋を上側に通常エア抜きを抜きながら、下側の大きい口から仕込む反応缶のマンホール口が小さく、上側のエア抜き取り蓋を開けたままにして、勢いを抑えたまま仕込んでいた				
	③今回、ドラムを立てたまま8本中3本エア抜きを実施したがエア抜きが溜まっていなかった為、残りの5本をそのまま仕込んで大丈夫だと思ってしまった				
	災害の型 ^{※1} : 7:有害物との接触		作業の形態: <u>定常</u> 、非定常、その他()		
起因物: 原料		特記事項:			
原因	1. 人的要因 (man):				
	・仕込み前にドラムを立ててエア抜きを8本中3本実施したが内圧は上がっていなかったため残りの5ドラムも内圧に問題無しと思ってしまう、ドラムの仕込み前のエア抜きを怠った				
	2. 物に関する要因 (machine):				
	・暑い時期となり、熱膨張で内圧が上がっている (ドラムに触れても表面温度は高く無く 原料内圧上昇が解らなかった) ・保護メガネだけでは眼を全体にカバーできておらず、隙間から飛び込む可能性が高い				
3. 環境要因 (media):					
・粘度が低く、圧力が掛かると吹き出しやすい内容物であった					
4. 管理的要因 (management):					
・作業を急いでおり、全数のエア抜き作業を行わなかった。					
対策	・ドラムを横に倒してからエア抜きを行い、エア抜きの蓋は投入量に応じて調整しながら仕込む様にする ※特に反応釜の仕込みマンホール口は口径が小さく、エア抜き用蓋を全開してしまうと吐出量多く、マンホール外に飛び出してしまふ為注意が必要				
	・熱膨張や蒸発等で内圧上昇する事から、エア抜き作業は夏場の気温の高い時だけでは無い事を指導教育する				
	・保護メガネ着用していたが、隙間から飛び込みとなってしまった、仕込み作業には面タイプの保護具も併用する				
	対策分類 ^{※2} :				
備考	類似箇所の摘出 :				
	横展開⇒他生産G(部署)に、エア抜き作業の徹底を指示致しました				